

＜成城大学民俗学研究所 2026年度 公開講演会＞

恐怖・笑い・感覚 ―俗信論コトハジメ―

講演者：関一敏氏（九州大学名誉教授）

【日時】2026年6月20日（土）13:30～15:30 【会場】成城大学 3号館 1階 311教室

成城大学（東京都世田谷区 学長:杉本 義行）は、民俗学研究所 2026年度公開講演会「恐怖・笑い・感覚―俗信論コトハジメ―」を、6月20日（土）に開催いたします。

今回の講演では九州大学名誉教授・関一敏氏をお迎えします。みなさまのご参加をお待ちしております。

「民俗という無尽蔵の宝島には三つの洞窟がある。」

これを発見した柳田國男は、それぞれに有形・言語・心意の札をかけた。やわらかいコトバなら、しきたり・いいきたり・ひととなりである。うち二つの洞窟は、これまで深く方法的に発掘されてきたものの、第三の洞窟はてうすだった。そこには恐怖・笑い・ウソ・気風・俗信等々が雑然と眠っているらしい。

職人的発掘人に乏しい心細さであるが、とにかくなかに入って宝物をしらべてみよう。

【講演概要】

【日時】：令和8年6月20日（土） 13:30～15:30
（受付開始：13:00）

【場所】：成城大学 3号館 1階 311教室

【講演者】：関一敏氏（九州大学名誉教授）

【演題】：恐怖・笑い・感覚 ―俗信論コトハジメ―

【参加費】：無料

【予約】：不要です。直接ご来場下さい。

【アクセス】小田急線成城学園前駅中央改札北口徒歩4分（<https://www.seijo.ac.jp/access/>）

【お問合せ】：成城大学民俗研究所 TEL：03-3482-9097・9098 E-mail：minken@seijo.ac.jp

電話受付時間：平日 9:00～16:30 土曜日 9:00～12:00



【講演者略歴】

1949年 神奈川県生まれ。東京大学大学院人文科学研究科博士課程中退、パリ大学IV博士課程修了。

現在、九州大学名誉教授

【おもな著書】

『聖母の出現―近代フォーク・カトリシズム考』（日本エディタースクール出版部、1993年）、

『民俗のことば』（編著）（朝倉書店、1998年）、『新しい民俗学へ 野の学問のためのレッスン 26』（共編著）（せりか書房、2002年）、他多数。

＜注意事項＞

- ・当日、体調に不安のある方は、来聴をお控えください。
- ・当日は会場以外の学園施設への立ち入りはご遠慮ください。